

あすなろ

2024年1月29日

みみレター 第9号

兵庫県立姫路聴覚特別支援学校
校内支援部 (文責 山下)

国際交流学習が実施されました！



1月16日(火)に、インドネシアから兵庫教育大学に留学生として来日されている、リリさんとの国際交流学習が実施されました。当日はリリさんの指導教官の中島武史先生も一緒に来校されて、幼稚園・小学部・中学部・高等部の幼児児童生徒たちと楽しく交流学習をしてくださいました。

今回の国際交流学習は、昨年度に続き2回目の実施となりました。昨年度も兵庫教育大学の留学生の方3名(ケニア、フィリピン、ボツワナ出身)をお迎えして交流学習をさせていただき、英語でのコミュニケーションを通して、それぞれの国の文化や言葉、生活の様子などを知り、有意義な時間を持つことができ、貴重な体験となりました。

本校には、外国語指導助手(ALT)がいないので、普段、外国人と接する機会がありません。留学生の皆さんは、全員が英語を話されるので、児童生徒たちにとっては英語でコミュニケーションすることができる絶好の機会になります。

今回の交流学習においても、小学部・中学部・高等部での交流では、リリさんからインドネシアという国について、たくさんスライドとともに英語で話してくださいました。インドネシアの基本情報や動物・食べ物・言葉・手話についての話を聞いたあと、児童生徒たちからの質問に答えていただきました。中学部、高等部の生徒は英語での質問も準備しており、英語を使ってコミュニケーションする機会を楽しんでいました。前もって英語の質問を紙に書いて、その紙を見せながら質問をするなどの工夫も見られました。幼稚園では、日本の正月の遊びをリリさんと一緒に楽しみました。短時間でしたが、リリさんに馴染み、元気よくリリさんにあいさつをしたり、インドネシア語でお礼を言ったりする場面も見られました。

国際交流学習後の児童生徒の日記には、「楽しかった」「インドネシアのことをたくさん知れてよかった」「インドネシアに行ってみたいと思った」「リリさんはインドネシア語だけではなく、英語も日本語も話せてすごいと思った」「英語で質問して、英語で答えてもらって通じてうれしかった」「英語の発音ができなくても書いて見せれば通じることがわかった」などの感想が多く見られて、この国際交流学習の成果が感じられました。

【幼稚園】

【小学部】

【中学部】

【高等部】



TVアニメ「ゆびさきと恋々」放送スタート

講談社「デザート」で連載中のマンガ『ゆびさきと恋々』は、累計発行部数380万部突破（電子版含む）のヒット作で、各種マンガ賞を受賞したほか、2024年1月6日からはTVアニメの放送もスタートしました。

耳が聴こえない主人公の雪は、高校までは聴覚特別支援学校に通い、同級生はわずか数名だったため、恋を知らないまま大きくなりました。そんな雪が高校卒業後、外の世界に踏み出すように大学へ。そして、電車内での出会いをきっかけに、同じ大学に通う先輩・逸臣に惹かれていきます。この恋する気持ち・初恋のドキドキ感が、この作品が多くの人々から支持されている最大の共感ポイントになっています。年齢や性別、障がいの有無など関係ない、普遍的な恋心が実に細やかに描かれています。

（ MBS：毎週土曜 26：38～、BS日テレ：毎週土曜 22：30～、その他、各種配信サイトでも配信中 ）

巧みな表現が伝える、聴覚障がい者が生きる世界

雪は聴覚に障がいがあるため、コミュニケーション手段は手話、筆談、スマホへの文字入力、口の動きを読む読唇などがメインになっており、作中では、こうした表現が巧みに取り入れられています。

例えば、逸臣が雪に対して「かわいいな」とつぶやくシーン。誰にも聴こえないような独り言ですが、雪は唇の動きから彼が発した言葉を読み取ってドキドキします。また、「ちゅーしていい？」という問いかけを「ぎゅーしていい？」と言われたと勘違いして、心の準備もないままファーストキスをしてしまうなど、キュンとくるエピソードも描かれています。雪が答えやすいよう「お酒は飲む？飲まない？」など、二択で問いかける逸臣の優しさ、逸臣が友人と大事な話をする時は、視線をふたりの口元に向けられない雪の気遣いなど、ちょっとした振る舞いからもふたりの性格、お互いを想う気持ちが伝わってきます。

相手の口の動きから読み取ったセリフは文字を薄くしたり、うまく読み取れなかった言葉は文字を90度傾けたりと、マンガでは、マンガならではの表現も工夫されています。雪が手話で気持ちを伝える場面では、指先から切実な思いがあふれるようです。これらのシーンがアニメではどう表現されるのか、マンガと見比べると楽しみのひとつです。

巻末には手話協力のクレジットが記載されており、執筆にあたって著者は入念な取材をされたよう。障がいを感動の材料として消費するのではなく、誠実に描く著者の姿勢も共感を誘う一因かもしれません。

恋する気持ちが走り出す『ゆびさきと恋々』をぜひご覧ください。

（ 『U-Next Square アニメ』 より ）

ほちょうきてん らいこうび 補聴器店 来校日

< 13:10～ 通級教室 >

□神戸ヒヤリングセンター 2月8日（木） 22日（木）

□トーチン姫路補聴器センター 2月2日（金） 16日（金）

補聴器の故障や買い替え、作替の作り替えの際は、補聴器店 来校日を確認して、担任にお申し出ください。